

授業展開例（家庭）

1. 学 年 第5学年

2. 題材名 どのように生活しているかな
 「家族の生活を見つめてみよう」 （開隆堂 5,6年）

3. 題材について
 自分の生活を振り返るとともに、家庭や家族の仕事への関心を高め、望ましい家庭生活の在り方を考える。

4. 題材の主たる目標
 ・家庭には自分や家族の生活を支える仕事があることが分かる。
 ・家族の一員として自分の分担する仕事を工夫して行うようにする。

【普遍的視点】

役割の自覚と自己責任

・家族の一員として役割を自覚し、仕事を分担し、協力していこうとする態度を育てる。

5. 評価規準

生活への関心・意欲・態度	生活を創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての知識・理解
自分が家族の一員であることを自覚し、意欲的に家庭生活を送ろうとしている。	家族の一員として、身に付けた知識や技能を生かして、自分なりに工夫して生活しようとしている。	日常生活に必要な基礎的な技能を身に付け、自分の身の回りの生活に活用できる。	家庭生活を構成している要素を知る。 家庭生活が家族によって成り立っていることについて理解する。

6. 指導と評価の計画（全5時間）

次	学習内容（時数）	評 価					
		関	創	技	知	評価規準	評価方法
1	1日の生活を振り返ってみよう。（1時間）					自分が家族の一員であることを実感するとともに、家族の願いを実現するために仕事があることが分かる。	ノート 発言
2	簡単な仕事をしてみよう。（1時間）					自分の分担する仕事を決め、責任をもって継続的に実行しようとする。	ノート
3	家族の生活を振り返ってみよう。（3時間） （本時2時間目）					生活には様々な仕事があり、家族が互いに分担していることが分かる。	ワークシート

7. 本時のねらい

- ・家族のしている仕事に関心を持つ。
- ・一人ひとりが役割をもち、責任を果たすことにより、家庭生活が成り立っていることに気付く。
- ・家族の一員として、**自分が責任をもってできる仕事を見付け、やりきろうとする意欲を持つ。**

【役割の自覚と自己責任】

8 . 展開

段階	主な学習内容	主な発問と反応	指導上の支援・留意点	評価規準	評価方法
導入	具体的な仕事について振り返る。	1学期に見付けた家庭にある仕事について思い出してみよう。	事前に児童が調べ学習した内容をもとに確認するが、あまり時間をとらない。 どの家庭にもある共通した仕事とそうでない仕事のどちらについても考えていく。		
展開	<p>個人個人が生活を見つめられるよう丁寧に考えていく。</p> <p>個々に意見を持ち、意見を出し合う。</p> <p>アンケートに書かれている家族の感想を聞く。</p>	<p>誰がどんな仕事を担当しているのか考えてみよう。</p> <p>わかることについて意見，感想を出し合おう。 (例) ・お父さんやおじいちゃんはお外の仕事が多い。 ・お母さんやおばあちゃんはお内のお仕事が多い。 ・ぼくやわたしたちは仕事というよりお手伝いが多い。 ・犬の散歩は仕事かなあ。 ・外のお仕事は危険がある。 ・ご飯，洗濯など家事は一日中ずっとこまごまあする。</p> <p>家族の考えや思いを知ろう。</p>	<p>表面的に見て，仕事の内容の「よい」「悪い」を判断しないようにする。 それぞれの家庭事情があり，どの感想も否定しない。</p> <p>事前に調査したアンケートの結果を活用する。パワーポイントを利用する。</p> <p>家庭には様々な仕事があり役割を分担する必要があることに気付かせる。 【役割の自覚と自己責任】</p> <p>家庭の仕事を担当しているそれぞれの家族の考えや思いを知る。</p> <p>自分にできることを見付けるよう促す。 【自己責任】</p>	<p>家族の仕事内容が分かる。</p> <p>家庭での自分の役割に気付く。</p> <p>家族の考えや思いが分かる。</p> <p>自分の仕事を決めることができる。</p>	<p>発表 ノート</p> <p>発言</p> <p>発表</p> <p>つぶやき</p>

<p>まとめ</p>	<p>家族の役割について自分なりの感想をもち、発表する。</p>	<p>望ましい役割分担について考え、自分の意見を持ち、意見を出し合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いに感謝しよう。 ・進んで仕事を見付けよう。 ・お互い協力しよう。 	<p>各家庭の条件がそれぞれ異なることに留意し、各家庭のあり方を批判しない、させない。</p> <p>家族への感謝の気持ちを持ち、家庭の仕事を分担、協力しようとする。</p> <p>【役割の自覚と自己責任】</p>	<p>感謝の気持ちを持ち、進んで仕事を見付けようとする。</p>	<p>ノート 発言</p>
------------	----------------------------------	---	---	----------------------------------	-------------------

9 . 評価

- ・自分の家庭生活を見つめ、望ましい役割分担について考え、自分にできることをしていこうとする意欲を持てたか。【役割の自覚と自己責任】



話し合おう

- 湯をわかして家族にしたことを発表してみよう。
- 家庭の仕事を観察して、気がついたことを話し合ってみよう。

③ 家族の生活を見つめてみよう

家族の生活を、毎日、注意して見ていると、仕事のしかたや、そのときの家族の気持ちがわかってきます。わたしたちも家族の一人として、自分ができる仕事を見つけて実行しましょう。

家族の生活のようすを考えよう

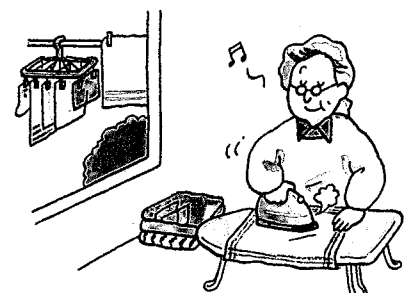
父は、食事のあとかたづけをしてから仕事に出かけます。会社の帰りには、買い物をしてきます。



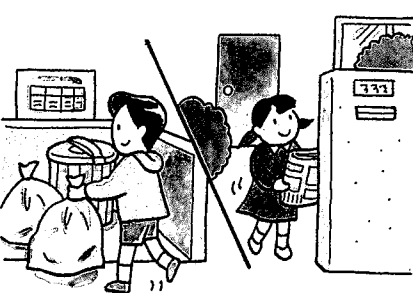
家庭の仕事は、父と母で協力しています。母の帰りがおそい日は、父が夕食作りをしています。



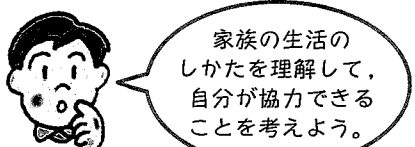
祖母は、家の回りのそうじをしたり、洗たくものをほしたり、アイロンをかけたり、いろいろな仕事をしています。



わたしや妹は、学校から帰ると自分のやりたいことばかりしていることが多いので、しかられています。でも、ごみを出したり、新聞をとってきたりしています。



できる仕事を見つけよう



家族の生活のしかたを理解して、自分が協力できることを考えよう。



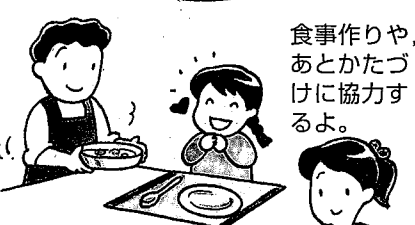
ごみ出しなら、わたしにもできるな。



自分の衣服は自分で整頓しよう。



かんたんなおやつ作りにチャレンジしたい。



食事作りや、あとかたづけに協力するよ。



アイロンかけもしてみたいな。

家族の生活のしかたは、家族の考え方や家庭での役わりなどによってさまざまですが、どの家族も、健康で楽しく生活したいと願っています。わたしたちは、これから、生活に必要なことを身につけ、家族がたがいに支え合い協力し合って生活することをめざしていきましょう。

自分ができる仕事を実行してみよう



Aさんの仕事のくふう

● 食器洗い ●

- 1 実際に仕事をする前に、家族が食器を洗っているところを観察しました。
- 2 皿を分けて洗っていたので、その理由を聞きました。
- 3 油でよごれたものと、そうでないものを分けて洗うと、水や洗ざいを使う量が少なくてすむと教えてくれました。
- 4 皿を洗うとき、よごれの種類別に分けて洗いました。

見たり聞いたりしてから、仕事をしました。

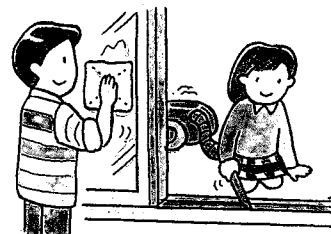


Bさんの仕事のくふう

● 窓のそうじ ●

窓ガラスや窓のさん、みぞのよごれようすを、よく調べてから仕事をしました。

- 1 妹と二人で、仕事がいくつあるのか考えました。
- 2 ふくところ、ごみをとるところによって、分たんしました。
- 3 用具をくふうして使いました。



まとめよう

- 自分の1日の生活のしかたをふり返って、どんなことを感じたかな。
- ガスこんろなどを使ってみて、むずかしかったところはあったらうか。
- みんなの仕事の発表を聞いて、どんなことがわかったかな。
- これからやってみたい仕事は何だろうか。

調べたことや、家族に教えてもらったこともまとめよう。

参考

■世界の小学校5年生の家庭の仕事(100人あたり)

・食事のあとかたづけ

日本	76人
大韓民国	71人
アメリカ合衆国	65人
イギリス	59人
ドイツ	45人

・家の中のそうじや整頓

アメリカ合衆国	84人
大韓民国	80人
イギリス	68人
日本	60人
ドイツ	53人

(「子どもの体験活動等に関する国際比較調査」2000年)